

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

広報室

(Tel 0798-45-3533)

(E-mail kohos@mukogawa-u.ac.jp)

武庫川女子大学と同附属高等学校が 初の合同卒業展「武庫女書展」を開催します。

武庫川女子大学日本語日本文学科書道研究室と武庫川女子大学附属高等学校書道部が3月4日～6日、西宮市民ギャラリーで合同卒業展「武庫女書展」を開催します。1939年の武庫川学院創設当初から書道教育に力を入れ、中高、大学ともに書のレベルの高さに定評がありますが、高大そろって卒業展を開催するのは初めて。高校生と大学生の力のこもった作品が一堂に会します。

参加するのは大学の書道研究室（書道ゼミ）の4年生11人と附属高等学校書道部の5人。大学生は料紙に書いた仮名、屏風や軸に仕立てた漢字の大作など、高校生は漢字と近代詩文書を中心に、臨書や創作を出品します。

これまで高校は卒業展を行っておらず、大学の書道研究室も以前は卒業制作展を学内のみで行っていました。大学は2020年2月に初めてキャンパスを飛び出し、西宮市民ギャラリーで卒業展を開催。毎年、多くの人が足を運んでくれていることから、同会場で3年目となる今年は「高大連携で地域の方々のつながりがさらに広がれば」と、附属高校に合同開催を呼びかけました。

武庫川女子大学は1939年の武庫川学院創設当初から書に力を入れており、大学日本語日本文学科は書道に特化した授業が充実しています。1973年に開設した書道研究室（書道ゼミ）は高校の書道教諭や研究者を輩出しており、今回、四曲屏風の創作を発表する日本語日本文学科4年、原琴名さんも4月から、京都府立高校の書道教員になることが決まっています。2021年の西宮市・スポケーン市姉妹都市提携60周年にあたり、書道ゼミの学生たちが西宮市の番組「フロムにしのみや」の中で祝賀の書道パフォーマンスを披露しました。

附属高校の書道部は書のインターハイにあたる総合文化祭の全国大会に 12 年連続出場中。春の選抜高校野球大会の開会式で使われるプラカードに校名を書く役割を任されることも多い実力派です。今回の卒業展では、2021 年度に総合文化祭全国大会に出場した 3 年安田弥生さんの大作（90 センチ×240 センチ）も出品されます。

大学書道ゼミの平田光彦准教授は「大学での学びを書を通して地域に還元する機会になれば。附属中高、大学それぞれの力が一つになって、新しい武庫川学院の書の伝統を作り出したい」、高校書道部を指導する安木文雄教諭は「多くの人に見ていただき、大学といっしょに書の魅力を伝えていきたい」と話しています。

イベント名：

武庫女書展

武庫川女子大学 書道研究室 卒業制作展

武庫川女子大学附属高等学校 書道部 卒業記念展-軌跡-

場所：西宮市民ギャラリー2階 第1・第2展示室

日時：2022年3月4日（金）～6日（日）

10時～17時（最終日は16時まで）

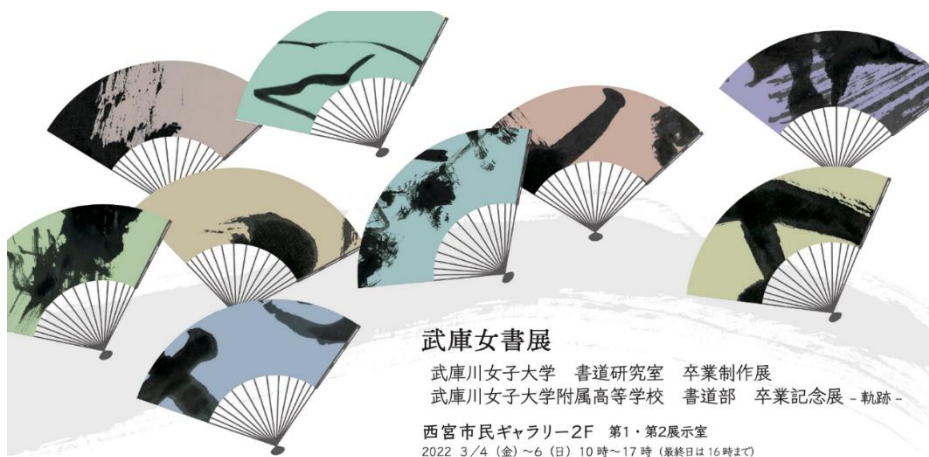
入場無料

この件に関するお問い合わせは

広報室 Tel 0798-45-3533

メール kohos@mukogawa-u.ac.jp

へお願いします



武庫女書展

武庫川女子大学 書道研究室 卒業制作展

武庫川女子大学附属高等学校 書道部 卒業記念展-軌跡-

西宮市民ギャラリー2F 第1・第2展示室

2022 3/4 (金)～6 (日) 10時～17時 (最終日は16時まで)